

重点プロジェクト①

次世代文化体験プロジェクト

草津の文化を担う次世代を育成するとともに、大人になっても文化に親しむ基盤づくりを行うため、学校や地域社会等において幼少期から文化に触れることができる機会の充実に取り組みます。

また、子どもや若者が草津に生まれ育ってよかったと思え、後に市民としての誇りやアイデンティティーの礎となるような文化体験の機会を創出するための仕組みづくりに取り組みます。

クレア舞台芸術学校

概要

宝塚歌劇団演出家や宝塚歌劇団出身の振付指導を迎え、オーディションで選ばれた小学生3年生～中学生3年生を対象に、総合舞台芸術である歌、ダンス、芝居を基礎から学び、ミュージカルに出演する。



実績

6期生団員数：36人
来場者数：コロナウィルス感染症対策のため、2日間ミュージカル開催①429人②482人

アートフェスタくさつ

概要

子どもや若者が気軽にアートに親しみ、アーティストと市民の交流の場となる機会を創出することで、市の文化を担う次世代の育成を目的に開催。市役所を中心にアートワークショップを実施した。



実績

令和4年10月21日
来場者数：2,000人（コロナ対策のため、入場制限）
ワークショップ出展者数：23団体

学校連携プロジェクト

1 こころの劇場

概要

子どもたちが等しく本物の文化に触れる機会を提供するため、市内の小学6年生を対象に劇団四季のミュージカルに招待。令和4年度は、コロナの影響により動画配信で実施。



実績

令和5年1月16日
実施校：市内小学校7校・23クラス

2 茂山家による狂言ワークショップ

概要

市内の小学校6年生を対象とした、狂言体験のアウトリーチ事業。教科書で学ぶ『柿山伏』や古典作品にふれ、「すり足」「発声」など狂言の魅力のプロから学ぶことができる。

実績

令和4年12月13日～12月14日
実施校：笠縫小学校・4クラス
常盤小学校・2クラス



重点プロジェクト②

13万人の文化プロジェクト

誰もが人として尊重され、社会参加することができる優しいまちを形成するため、高齢者、障害者等で文化活動に参加する環境が十分とは言えない人々に向けた社会包摂プログラムの展開に取り組みます。

また、働く世代で、文化活動のための自由な時間をつくりにくい人など、普段文化に触れる機会が少ない人でも参加しやすい、魅力的な文化事業の充実に取り組みます。

草津市芸術祭

概要

市民や市内の文化・芸術団体を育成・支援するとともに、その活動の成果を発表する『場を提供』することや、アーティストや作家とのネットワーク形成を目的に開催する。今年度より11月を芸術週間と位置づけて、音楽祭、合唱祭、文化祭を統合して、芸術祭とした。



実績

参加団体：48団体
来場者数：1,092人

こども芸術鑑賞応援制度

概要

誰もが文化に触れる機会の一助とするため、企業からの寄付を原資に、ひとり親家庭の家族を抽選でミュージカル、コンサート等に招待した。



実績

寄付金額：22万円（12団体、企業）
招待数：38組（89人）
対象公演：

- ①シエナ・ウインド・オーケストラ with 青島広志
- ②劇団四季ファミリーミュージカル
- ③クレア音楽の時間Vol. 3 詩と音楽について
- ④おうみ狂言図鑑2023

重点プロジェクト③

ふるさと草津の心プロジェクト

市民のシビック・プライドを醸成するとともに、本市の文化の魅力を市内外に発信するため、本市の文化的資産の価値を再発見、再認識することができる機会の充実に取り組みます。

また、メディア芸術や生活文化（食、ファッション等）、景観その他も含め、幅広い分野から新しい魅力の創出につながるものを重点的に推進することを検討し、草津らしい個性ある文化の創造を目指します。

キッズシネマ塾

概要

市内小学校4～6年生を対象に、草津の文化をテーマにした映画制作を行うことで、草津の文化を担う人材の育成に繋げる。また、制作した映画を活用して市内外に草津の文化の魅力を発信する。



実績

令和4年10月8日～10月9日
参加者数9人

アートフェスタくさつ プレイVENT

概要

作家と市民の交流の場、そして市民が気軽にアートに親しむことができる機会の創出を目的としたイベント。街道筋に点在する歴史的に価値が高い空間を会場とする事で、中心市街地の賑わいや魅力向上、文化的資産のPRに繋げる。



実績

くさつのある暮らし展
令和4年9月29日～10月2日 開催場所：八百久
くさつのある暮らし市
令和4年10月2日 開催場所：立木神社